

## 令和元年(2019年)12月 青果部 主要品目の市況

	種類	品名	市況の概要	2019年12月 数量 (トン)	2019年12月 平均単価 (円)	前年同月比 数量	前年同月比 平均単価
1	野菜	大根	神奈川県産、千葉県産中心の入荷でした。台風の影響により入荷量はやや減少しました。平均単価はかなり高く推移しました。	554	70	91%	141%
2		はくさい	茨城県産中心に群馬・和歌山・兵庫県産及び九州産の入荷でした。暖冬による順調な出荷もあり、入荷量は増加しました。平均単価は大幅に高く推移しました。	708	63	116%	172%
3		きゅうり	宮城県産中心を中心に関東産の入荷でした。気候が不安定であったものの、入荷量は増加しました。平均単価は前年並みで推移しました。	214	560	119%	102%
4		ねぎ	埼玉県産、群馬県産中心の入荷でした。例年より東北産の残量も多く入荷量はやや増加しました。平均単価は前年並みで推移しました。	256	330	109%	99%
5		馬鈴薯	北海道産中心の入荷でした。産地の出荷調整の影響により、入荷量はやや減少しました。平均単価はかなり安く推移しました。	331	95	94%	73%
6	果実	みかん	生育期の天候不順及び裏年傾向により、晩生種の出荷が減少し、さらに着色も遅く、産地で越年するものが多く、出荷量が減ったため、入荷量もやや減少しました。平均単価は安く推移しました。	1,038	252	92%	89%
7		ふじ	入荷量は前年並みで推移しました。上位等級が多く、平均単価はやや高く推移しました。	260	302	102%	110%
8		富有柿	福岡県産、奈良県産、和歌山県産中心の入荷でした。温暖な天候により、着色が遅く、出荷が出遅れましたが、冷蔵物の出荷量増加により、入荷量は増加しました。平均単価はやや安く推移しました。	110	326	117%	96%

## 【増減基準】

- ①並み、横ばい:(+)0~2%
- ②やや増加(減少):(+)3~10%
- ③増加(減少):(+)11~20%
- ④かなり増加(減少):(+)21~50%
- ⑤大幅に増加(減少):(+)51%以上